

地域課題解決に向けた「総合型地域スポーツクラブ」の可能性

総合型地域スポーツクラブ参加による健康効果



【千葉キャンパス】健康医療スポーツ学部 リハビリテーション学科

理学療法コース 准教授

佐藤 正司 Sato Masashi

URL: [帝京平成大学 教員業績紹介ページ](#)



キーワード: 地域課題・高齢者・総合型地域スポーツクラブ・政策評価・健康・通いの地・地域包括ケア・部活動・地域移行・地域展開・well-being・社会参加

研究の概要

SDGs 目標 3: すべての人に健康と福祉を

SDGs 目標 11: 住み続けられるまちづくりを

本研究は、地域課題の解決に向けて「総合型地域スポーツクラブ」参加の効果について、現状把握と定量的な検証を進めて、クラブの可能性を示すことを目的としている。

文部科学省は 2000 年にスポーツ振興基本計画を策定し、その中の施策として「総合型地域スポーツクラブ」の全国的な整備を掲げた。2024 年 7 月時点では 3,581 クラブが育成され、約 8 割の市区町村に設置されている。

総合型地域スポーツクラブは、住民が主体的に運営する点に特徴があり、地域のスポーツ環境を自ら創り出す仕組みとして注目されている。また、各地域の実情に合わせた地域課題の解決にも寄与することが期待されている。

したがって総合型地域スポーツクラブは、高齢者の介護予防や成人の健康づくり・メンタルヘルスをはじめとし、小中高校の運動系部活動の移行・サポートなど多岐にわたる領域にも貢献する存在と位置づけられる。

一方、第 3 期スポーツ基本計画では、スポーツの効果に関するエビデンスの蓄積が課題として示されている。特にクラブ参加と多面的な健康との関連を縦断的に検証した研究は限定的である。

本研究は、「総合型地域スポーツクラブ」参加による健康への効果について、先行研究をはじめとした現状の把握と、定量的な効果検証により、今後の研究発展の基盤を築くことを目的とする。

実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

【実学へのつながり】

帝京平成大学では、総合型地域スポーツクラブとして「帝京平成スポーツアカデミー」を運営している。提供するプログラムの中には、スポーツ技能を持つ地域住民や大学教員が講師役のものもあり、大学生が関わるプログラムもある。大学生は、スポーツ指導・運営に関わる地域住民や大学教員を身近で見ながら、現場で地域のスポーツ活動を学ぶことができる。また、地域住民の方々も、本学の学生と顔の見える関係を築き、若者への理解が促進される。

【自治体への希望要望】

複数の総合型地域スポーツクラブが協力し、多岐にわたる競技種目・競技レベルに対応できるように連絡協議できる機会をいただけると幸いです。また、自治体が所有する健康関連データと各クラブが所有する参加者データを紐づけることで、より詳細で多岐にわたるデータ分析ができると考えられます。

知的財産・論文・学術発表など（詳細は右上 QR コードの教員紹介からご確認ください）

【論文】「高齢者における総合型地域スポーツクラブ利用と健康関連指標との関連 —スコーピングレビュー—」

【学会発表】「高齢者における社会経済的状況とうつ発症との関連」